



南三小

教育目標
よく考える子ども
心も体もたくましい子ども
仲良く助けあう子ども

7月号

町田市立南第三小学校
令和7年 6月 30日
校長 工藤 成

URL <https://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310182>

小中一貫連携教育

副校長 加藤 高嗣

32・18・50、これは…

毎年、学校だよりの2月号には教育活動に対しての保護者の皆さんからのアンケート結果を掲載して報告しています。その中で「そう思う」「やや思う」といった、肯定的な評価が**32%**と芳しくないのが設問 No.17「学校は、〇〇小（中学校）と連携して教育活動に取り組んでいる。」です。－(マイナス)評価は**18%**でしたが、「わからない、無回答」が**50%**で、他の設問はほとんど10%以下（平均 5.9%）ですので、学校からの情報発信が足りていなかったことを反省せざるを得ません。

町田市教育委員会では、未来を切り拓くために生きる力を育む基本方針に基づき、「えいごのまちだの推進」による中学校への円滑な学びの継続や「小中一貫町田っ子カリキュラム」による健康教育やキャリア教育を推進したり、小学生・中学生フォーラムの実施による主体的に考え伝え合う機会の充実を図ったりしています。これらは、小・中学校の9年間を見通して教育活動の連続性を確保し、心身の発達に応じたきめ細やかな指導を行うことができるように、小中学校間の連携を推進している取り組みです。

南第三小学校では、南中学校・南第一小学校・南第四小学校との4校でグループを作っています。先日の小中連携研修会（6/11）では南第一小学校を訪問し、授業を参観するとともに、教科部会に分かれ、情報を共有したり課題について協議したりしました。児童・生徒の実態を共有することで、中学校につながるうえでの指導のポイントや在り方についての見直しをしたり、他校の状況を踏まえ学校間の交流を深めることで児童・生徒理解を深めたりして、子供たちの学校生活をより豊かなものにしていきたい思いがあります。

以下は、教科等の各分科会で主に中学校から出された、小学校への要望の意見交換の一部です。教科ごとの意見であり、限定された児童・生徒の一側面ではありますが、今後の教育活動の参考にするとともにご家庭のご指導の際にも踏まえて頂ければと思います。よろしく願いいたします。

- アウトプットが苦手で、自己表現・主張が少ない、穏やかな子、自信のない子が多い
- 規律を守って発言できる
- 三小はバランスをとれる児童が多い印象、一小・四小との架け橋になれるがリーダー性は弱い
- 基本的な学力（特に計算力）の習得を、分かっているつもりでも説明が不十分
- 交通ルールに関して危機感が薄い、荒い運転者が多いことを周知徹底していきたい etc.

南三小で頑張っている児童の笑顔が、卒業後も続くよう連携を推進していきます。